

競技団体の組織基盤強化支援事業 令和7年度継続団体の事業概要

No.	団体名	事業名	事業概要
1	公益財団法人全日本柔道連盟 特定非営利活動法人日本視覚障害者柔道連盟 一般社団法人日本ろう者柔道協会	「JUDO for ALL」実現に向けた組織基盤強化事業	「JUDO for ALL」推進にあたり、以下の取組を実施する。 ・戦略的グランドデザイン「長期育成指針」の加速度的普及ならびに指導者養成システムの改定により、柔道の目的・意義を理解した柔道実践者を増やす。 ・生涯にわたって競技に親しめる環境を作るとともに、視覚・聴覚・知的障がい者柔道の統括団体との連携を強固にし、年齢・性別・障がいの有無に配慮した多様な活動を全国に広げる。 ・柔道を「知る」▶「始める」▶「続ける」流れを加速させるため、興味を持った人々が容易に活動環境を探せるマッチングシステムを構築する。
2	公益財団法人日本テニス協会	～レジリエントな組織力基盤強化に向けて～ JTA中長期普及戦略「NEXT100」立案・推進事業	・中長期普及戦略「NEXT100」の推進を図るため、事業の担い手となる指導者の養成と、「カラーボールマッチ」開催により、「体験する」「始める」「続ける」の普及モデル全国展開に向けた基盤を構築する。 ・小学校学習指導要領改訂に合わせ開発した体育の学習教材「テニピン」の教材特性を理解し、学校体育場面において効果的な指導が実践可能な指導者（テニピンアンバサダー）養成講習会を開催する。 ・テニピンの認知活動と共に、テニピンの教育的価値を普及するためのテキストを作成する。 ・技術だけでなく、戦術戦略を習得可能とするTennis P&Sプログラムを活用した「カラーボールマッチ」のモデル事業を全国で開催し、ゲームの楽しさを味わうことが「始める」から「続ける」につながるモデルを全国に展開する。
3	特定非営利活動法人日本パラ射撃連盟 一般社団法人日本パラカヌー協会 一般社団法人日本車いすカーリング協会 一般社団法人日本パラフェンシング協会 一般社団法人日本障がい者乗馬協会 一般社団法人日本知的障害者水泳連盟 特定非営利活動法人日本パラ・パワーリフティング連盟 一般社団法人日本知的障がい者卓球連盟	パラ8団体協働経営基盤強化プロジェクト	8団体協働で、以下の取組を実施する。 ・運営/活動規模が小さいために独自に実行できなかった様々な活動について、8団体協働でチャレンジすることで、各団体の基盤強化や変革につなげる。特に弱かったマーケティング活動や広報・コミュニケーション、人材育成などの知識・知見獲得につながる活動を重点的に行う。 ・また、新たな仲間づくりを行うためのオウンドメディアやデジタルツールの積極活用、情報管理・提供の仕組みづくり等を行う。 ・個々の団体が単独では導入できなかった事務関連システムを共同で導入することで、事務作業の効率化につなげる。
4	一般社団法人日本デフ陸上競技協会	ゝ映像で観戦される方、を意識、字幕や手話を織り交ぜた映像制作、中継配信スタイルの確立事業 ならびに、ゝ競技場へ来場される方、を意識、場内ビジョンの活用、上記映像の転用などから場内演出の確立事業	・主催大会での新たな魅せる（見せる）観戦スタイル転換とファンエンゲージメント確立 2025年東京デフリンピックに向け、聞こえにくい人、聞こえる人に大会を楽しんでもらえるよう最新テクノロジーを駆使し新しい競技運営システムを構築する。多くの人に見てもらい、また、見るだけでなく、参加型応援システムを構築し、より多くの人に楽しんでもらえるような大会づくりを実現する。 ・デフ陸上教室・スタートランブ体験と普及支援事業開催 全国各地でデフ陸上トップ選手を講師として陸上教室や講演会を開催する。また、デフ陸上のシンボルでもあるスタートランブを用いて競技を体験してもらい、デフ陸上を知らない多くの人たちに知ってもらえるよう普及啓発活動を開催する。他にもデフ陸上選手が安心して健常者の大会に出場できるように健常他団体と連携を進め、スタートランブオペレーターや手話通訳士などのスタッフを各地の大会へ派遣する。 ・組織運営をマネジメントする報酬制度による人材活用 広い知見を持った人材を活用し、運営体制を強化する。専門的に業務を進めることで、組織全体のマネジメント強化を図る。 ・円滑な運営体制を確立するためのネットワークシステム構築 ネットワークシステムやクラウドを活用し、全国各地のスタッフや他団体などと連携がスムーズにとれるようにシステムを整備する。
5	一般社団法人日本ボッチャ協会	組織基盤の体制強化事業と共生スポーツの普及事業	・会員管理サービスシステムを一新し、健常者を含めた選手の基本情報の登録・参照を一元管理し、各地域協会が、健常者を含めた選手の大会エントリー・登録・記録・管理・参照ができるシステムの概要設計を実施する。 ・大会エントリーシステムのプラットフォームの構築と大会の情報管理や講習会イベント管理・募集のシステム化を図る。 ・自治体、民間企業等と連携し、連携協定地域に対して地域課題の解決につながるマーケティングプログラムを実施する。 ・健常者の競技への参加を通じて、共生スポーツの更なる普及と、障がい者選手層の拡大につながる健常者大会新設の基盤を構築する。 ・中長期計画マーケティング戦略とデジタルに関わるマネジメントと進行管理の為、各事業取組に即した外部人材を活用する。

競技団体の組織基盤強化支援事業 令和7年度継続団体の事業概要

No.	団体名	事業名	事業概要
6	一般社団法人日本車いすバスケットボール連盟	JWBF組織基盤強化事業 ～中長期計画推進プロジェクト～	本事業を進めるにあたって必要な人材を確保した上で、以下の取組を実施する。 ・主要大会でのライブ配信を行う。経済的理由や重度障害により競技会場に来られない方も含め、全ての国民に等しく、車いすバスケットボールの魅力を見て頂けるようライブ配信環境を整備する。 ・プロジェクトリーダー及びサブリーダーを中核とし、中長期計画推進プロジェクト会議を推進し、各ワーキンググループで編制された『する・みる・支える人』のバスケットボールファミリーを増やすためのアクションプランを作成する。JWBFならではの成功事例をつくり、車いすバスケットボールや障がい者スポーツの価値や付加価値を高めながら、よりよいインクルーシブ社会を創ることに貢献する。
7	一般社団法人日本パラサイクリング連盟	パラサイクリング組織基盤強化事業	・国内外の数多くのIFやNFの中長期計画策定・実行支援を実施してきたコンサルティング企業とプロジェクトチームを編成の上、中長期計画の策定を実施する。 ・「自転車競技を楽しむ環境づくりを行うことで共生社会を実現する団体」、そして「健常者競技団体（JCF）とのシナジー活かし、共に競技繁栄を行う団体」の2点を目指すべき姿として定め、中長期計画の策定を実施していく。
8	特定非営利活動法人日本知的障がい者サッカー連盟	JFFID組織基盤強化事業「夢には、仲間がいる」	当連盟理念達成のための新たな仲間（地域、選手、スタッフ、専門人材、パートナー）を増やす体制作りを目指し以下取組を実施する。 ・専門的な外部人材の雇用により、マーケティング強化と労務環境の構築を伴う、本取組・理念に基づく計画的なアクション実施。 ・業務のシステム化を伴う業務改善・ノウハウの取得・事務作業の効率化。 ・事務局員を活用し安定的な運営・管理を図る。 ・競技に関して専門性の高い選任指導者の登用により、競技力の向上と、各地域のさらなる地域サッカー協会との連携・環境整備の促進。
9	公益財団法人日本ラグビーフットボール協会	JAPAN BASEを拠点とした経営基盤強化事業	トレーニングセンター施設「JAPAN BASE」の運営基盤を強化し、日本代表強化拠点としての活用に加えてラグビー及び地域のスポーツの普及・振興のための拠点としての役割を果たす目的で、以下の取り組みを実施する。 ①アジア・オセアニア地域との国際交流イベントの開催 ②高校生世代の競技継続を促す大会の開催 ③環境基盤整備による福岡・九州地域のスポーツチーム・団体の利用促進 ④ラグビー競技の普及や地域スポーツ振興に係る専門的人材の登用・育成

※下線は複数団体で実施する事業における代表団体。